



ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校

学校だより 2月号

〒624-0955 舞鶴市字丸田74番地

TEL : 0773 - 82 - 0013

令和5年1月31日発行

わが物と思えば軽し笠の雪 ~ 志を持って、ポジティブに~

1月が終わり2月に入ります。3日は節分、4日は立春と暦の上では春となります。まだまだ寒い日が続きますが、日が長くなってきていることも感じます。タイトルの諺は、「つらいことも苦しいことも、自分のためだと思えば苦にならないものだ」というたとえ。笠に降り積もる重い雪も自分のものだと思えば軽く感じられるということ。」という意味です。もともとは、江戸時代の俳人である宝井基角の詠んだ「わが雪と思へば軽し笠の上」という句から生まれた諺だそうです。基角は、松尾芭蕉のすぐれた弟子のひとりであり、蕉門十哲の一番の門弟であると伝えられています。



人が生きていく中には、楽しいことや嬉しいこと、あるいは悲しいことやつらいこと、むしろ嫌なことに会うことの方が、たくさんあるかもしれません。その中で人間は感情の動物だと言われるぐらいに、感情に大きく左右されます。それは人間であるが故の特性となり、その感情である喜怒哀楽は、実は、自分の心が決めているものになります。

例えば、自分がやらなければならないことがある時に、「面倒くさいな。」「やりたくないな。」とネガティブな思いで始めると、すべてがマイナスモードになり、当然、結果も悪くなります。反対に「これは自分のため、自分の力になるんだ」と考えると「よし、やるぞ。」「頑張ろう。」とポジティブな気分で取り組み、その成果も上がります。きっと教科の学習も、スポーツや習い事での練習なども同じはずです。自分がすべきことをどのような気持ちで取り組むかによって、結果に大きな差が出ることは間違いのないように思います。

そしてよりポジティブ思考で取り組むために必要なことは、「志を持つことだ」と言われています。「志」とは、目標達成の為に、自分で決めた決意、信念になり、「自分で決めた」が重要なキーワードになります。つまり、その「志」が困難を乗り越える力となります。これからもここ数年私たちが経験しているコロナ禍のように、予期せぬ色々な出来事を自分たちの力で乗り越えなければならない時代になっていくと思います。志を大切にして、自分の目標に向かって力を発揮できるようにしてほしいものです。新型コロナウイルスについても、先日新聞報道があったように、5月のゴールデン・ウィーク明けには第5類に変更する方向で検討中となってきており、マスク等の感染対策についても規制が緩和されるものと思われます。1日も早く以前のような通常の活動ができる日が来ることを願うとともに、子どもたちの生き生きとした笑顔や行動が戻ることを期待しています。

校長 中江 浩二 教職員一同

第2回いじめアンケートの結果について

いじめの早期発見・解決に活かすことを目的に、第2回目のアンケートと面談を11月に実施しました。今回のアンケートの調査範囲は、1学期の終わりからアンケート実施日まででした。学校では、アンケートの結果を踏まえ、全児童を対象に面談を行い、記述した内容について丁寧な聞き取りも行いました。また、あわせて、1学期に認知した事象の経過についても聞き取りを行い、その後、嫌な思いや事象が継続していないかの確認も行いました。

それぞれの認知件数は以下の通りです。今回の調査で認知した事象は、6件でした。

冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。(3件)

軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。(2件)

仲間はずれ、集団による無視をされる。(1件)

面談の結果、認知したいじめ事象について重大な事態は確認されませんでした。引き続き、継続した見守りや指導が必要である点も見受けられました。相手の思いを十分に考えずに不適切な言動が見られた事案や、思い違いやコミュニケーション不足によるトラブルが見られます。今後も、保護者・地域の皆様方との連携を密にするとともに、子どもたちの些細な変化や様子に注視しつつ、お互いのよさを認め合い、誰もが安心して学べる学校づくりを目指して、全教職員で指導に努めてまいりたいと思います。

なお、第1回目のアンケートで認知した6件については、全て解消されていました。